



CQM(超短期経済予測モデル)

稲田義久 (APIR 研究統括)

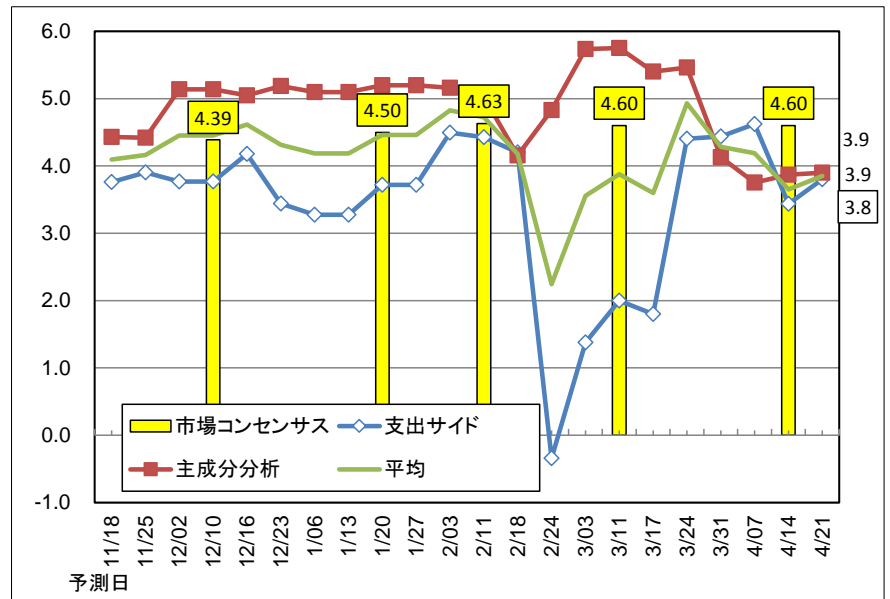
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: inada-y@apir.or.jp

日本経済(週次)予測(2014年4月21日)

ポイント

- ▶今回更新されたデータは、2月の鉱工業指数(確報値)、毎月勤労統計(確報値)、第3次産業活動指数及び建設総合統計である。
- ▶これらは、民間企業設備、民間在庫品増加、政府最終消費支出、公的固定資本形成及び雇用者報酬の予測に影響を与える。
- ▶2月の資本財出荷指数(確報値)は前月比2ヵ月連続のプラス。結果、1-3月期の実質民間企業設備の予測値は先週から上方修正。
- ▶2月の公務等活動指数は2ヵ月ぶりの前月比プラス。過去の系列が上方修正されたため、1-3月期の実質政府最終消費支出の予測値は先週から下方修正。
- ▶2月の公共工事は前月比3ヵ月連続のマイナス。実績値は事前予測を下回ったため、1-3月期の実質公的固定資本形成の予測値は先週から下方修正。
- ▶今週(4/21)の超短期モデル(支出サイド)は、1-3月期の実質GDP成長率を前期比年率+3.8%と予測。先週から小幅上方修正。1-3月期は公的需要、純輸出の成長貢献は期待薄で、駆け込み需要による民需のみが成長を牽引する。

CQM予測の動態：実質GDP成長率
2014年1-3月期(%, 前期比年率換算)



<1-3月期は公的需要、純輸出の貢献は期待薄で、民間需要のみが成長を牽引する>

今回更新されたデータは、2月の鉱工業指数(確報値)、毎月勤労統計(確報値)、第3次産業活動指数及び建設総合統計である。これらのデータは、民間企業設備、民間在庫品増加、政府最終消費支出、公的固定資本形成及び雇用者報酬の予測に影響を与える。

2月の資本財出荷指数(確報値)は前月比+1.5%増加し2ヵ月連続のプラス。実績値は事前予測を上回り、また年間補正の結果10-12月期データが下方修正。結果、1-3月期の実質民間企業設備の予測値は先週から上方修正(前期比+2.5%→同+2.9%)。2月の最終需要財在庫指数(確報値)は事前予測を上回り、年間補正の結果10-12月期データが下方修正された。結果、1-3月期の実質民間在庫品増加の予測値は先週から上方修正(-3.435兆円→-2.868兆円)された。

2月の公務等活動指数は前月比+0.6%上昇し2ヵ月ぶりのプラス。実績値は事前予測を上回ったが、年間補正の結果過去系列が上方修正されたため、1-3月期の実質政府最終消費支出の予測値は先週から小幅下方修正された(前期比+0.5%→同+0.4%)。

2月の公共投資は前月比-2.2%減少し3ヵ月連続のマイナス。実績値は事前予測を下回ったため、1-3月期の実質公的固定資本形成の予測値は先週から下方修正された(前期比-3.4%→同-4.3%)。

今週(4/21)の超短期モデル(支出サイド)は、1-3月期の実質GDP成長率を前期比+0.9%、同年率+3.8%と予測。先週の予測から小幅上方修正(+3.4%)となった。1-3月期は公的需要、純輸出の成長貢献は期待薄で、駆け込み需要による民需のみが成長を牽引する。

・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。
 ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。
 ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 contact@apir.or.jp 06-6485-7690